

会津駒ヶ岳山スキー報告

【山城】 南会津・会津駒ヶ岳(2133m)

【日程と天候】 2016年4月6日(水)晴れ

【メンバー】 CL 菊池・鈴木(忠)・石橋・伊藤(会員外)

【行程】 5日夜・那須伊藤家別荘泊

6日 那須一桧枝岐一登山口駐車スペース(930m)一階段一1450m 付近よりシール登高一会津駒ヶ岳山頂一源六郎沢源頭部に向かって標高差 160m 滑走一トラバース一登山道ルート一標高 1450m まで滑走一登山口



・4/6 安定しない4月の天気の間を縫ってツアー日和をゲットし会津駒に行ってきました。桜満開・新緑の季節に気温も上がってきており、少雪の今年の残雪期は、テンションダウンの今日この頃である。Sさんの今年は絶対に会津駒に行きたいコールを受けて、情報をしっかりゲット、例年のGWの様相の会津駒は、上部は極上ザラメの極楽世界が広がっていました。山頂から駒ノ小屋・燧ヶ岳方面の写真です。シラビソの霧氷が残っていました。

・駐車スペースは国道 352 号線から右に入りすぐのトイレのところである。ゲートがありそれ以上先へは行けない。沢の脇には少しは残雪があるが極めて少ない。雪のない林道を暫く行き、近道の登山道を進む。階段を上り雪のない登山道を暫く進む。左の沢状地形の急斜面には残雪がかなりあるが日当たりの良い登山道には全く雪がない。

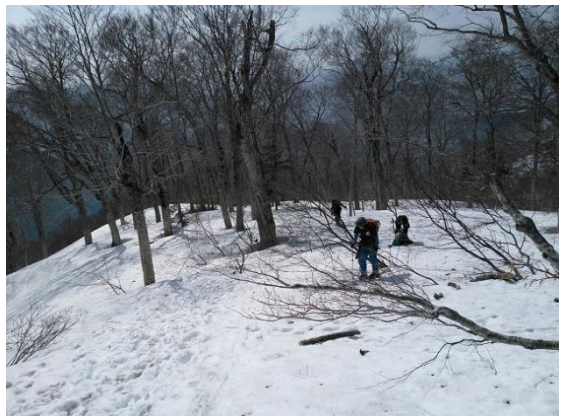


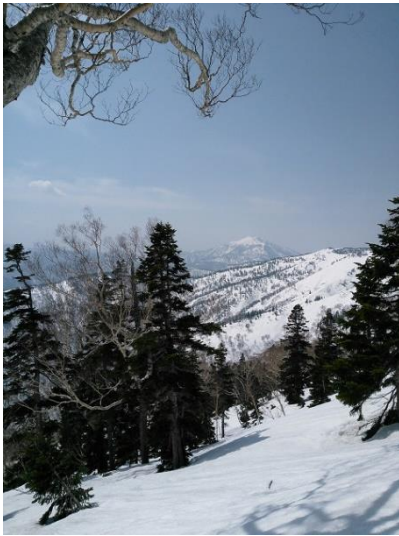
高齢者パーティです。Sさんは70才越え、全員年金年齢のため、ゆっくりペースです。



標高 1300m 付近から登山道ルートにもかなりの残雪が出てきたが藪が濃いためしばらくはツボ足のままの登りあげです。雪

が繋がってない藪の通過には難儀しながら 1450m の細尾根あたりから漸くシール登高できるようになった。ブナ林のシール登高は気持ちよく徐々にテンションが上がってきた。





・雪の状態もよく、シール登高は快適です。シラビソの尾根を暫く行くと燧ヶ岳方面も見渡せるような高度になってきました。標高差 1200m の長丁場、とにか



くゆっくりペースで登頂を目指しました。広大な山頂方面をバックにテンションアップです。山頂までで

きるだけ最短距離のルートを探るとトラバース気味に進むが、かなり疲れてきており、また S さんはスキーブーツが当たって痛いとのことでペースダウンした。

トラバースルートをやめて、駒の小屋に近いルートに変更、ブーツの調整で漸く痛みが



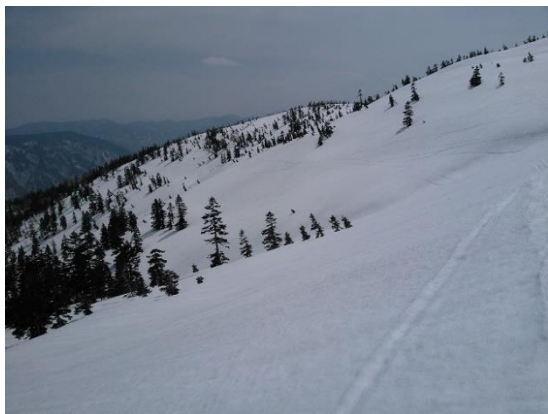
薄らぎなんとか 13 時過ぎ、所要時間 6 時間強で登頂できた。360 度の大自然にうっとり、念願かなった S さんは頂上の標識脇にどっかりと腰を下ろし記念撮影を行った。

・さあ、お待ちかねの楽しい滑走です。山頂から大斜面、源六郎川の源頭部に向かって



go!! 極上ザラメの快適滑走を堪能できました

今回小生はメローな斜面、下部の藪・悪雪のコントロールがしやすいテレマークです。しばらくトラバースして尾根に乗ります。尾根の林間も変化あるザラメの快適滑走でし



た。1450mの手前、左側のブナ林も気持ちよく滑れ、間もなく滑走終了となりました。登山と山スキーと温泉(駒の湯)を楽しめた大満足の日でした

